

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣北高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年6月13日(月) 13時30分～
- 3 開催場所 大垣北高等学校会議室
- 4 参加者
会長 竹内 治彦 岐阜協立大学学長
副会長 兒玉 榮一 本校同窓会長
委員 安藤 光男 大垣国際交流協会常務理事
伊藤三枝子 清流の国ぎふ女性防災士会会長
種田千佳子 (株)種田石油店代表取締役社長
堤 俊彦 大垣市体育連盟会長
三浦 陽子 大垣市男女共同参画推進室長
安田 真樹 本校育友会長
山田 治美 大垣市立赤坂中学校校長

学校側	鈴木 彰	校長
	橋 博	教頭
	服部久美子	教頭
	村山 寛和	事務部長
	土肥 義史	教務主任
	松野 智博	進路指導主事
	田中 卓哉	生徒指導主事
	落合 一大	1年学年主任
	田口 貢大	2年学年主任
	佐野 智紀	3年学年主任

5 会議の概要

- (1) 会長の互選
- (2) 令和4年度学校運営基本方針について概要説明
- (3) 意見

学校運営基本方針について

意見1：「教育活動の重点及び学校経営計画」の1「教職員の働き方改革について」に関して、達成度の判断項目にある残業実態と新型コロナウイルスのクラスター状況はどうであったか。

回答：残業実態について、本校では積極的に働く教員が多く、授業の準備、テスト、部活動などの業務によって月の時間勤務外が45時間を超えた教員が多数いた。部活動については、昨年度陸上部が岐阜協立大学で土日に合同練習をするという試みを行ったことが、時間外勤務増の一因となった。クラスターについては、生徒のマスク着用や黙食などの感染防止対策が奏功し、4月から陽性者が断続的に出たがクラスター化はしなかった。

意見2：授業から部活動まで、あれもこれも行うようでは教職員が大変。組織として管理職のリーダーシップを発揮してもらいたい。

意見3：以前は登下校時に教員が旗を持って通学路に立つなど交通指導していたが、最近は働き方改革もあって実施していない。それだけに生徒が交通ルールを守る意識をもたないと危ない。また、本校としてどんな生徒を望んでいるのかが、中学校の進路指導の先生に浸透しているのか。望む生徒像は中学校に説明しているのか。

回答：18歳成人ということもあり、生徒自身に考えさせたい。外部から交通マナー等の連絡があった場合、内容は生徒に伝えている。望む生徒像は学校のパンフレット、HPでも掲載しており、現在中学校で

の高校説明会で説明しているところである。

意見4：学校経営計画内の「ICT機器の効果的な利用」について、見学した授業では活用率が低く効果的に活用されていない。最低限プロジェクターは活用してほしい。授業におけるICT機器の利用率がどれくらいあるのか、統計的なデータで示してほしい。

地域の学校としての期待、さらなる飛躍を遂げるための方策について

意見1：最近の高校生は英語力、特に英会話能力が高い。現在対面での実施は難しいが、海外の高校生との交流を、WEB等を活用して展開するとよい。他高はWEBでの交流を始めており、国際交流協会としても協力することができる。

意見2：危機管理マニュアルは教員だけでなく、クラスのリーダーや生徒会役員など生徒の代表にも知らせるのがよい。危機管理マニュアルの改善については、何をいつまでになどと具体的な目標を掲げるのがよい。防災倉庫がどこにあるのかわからなかったため、わかりやすく周知するとともに、鍵の所在を確認しておく等有事の際にパニックを起こさない対応が必要である。

意見3：人権に関しては、男女だけでなくLGBTなど範囲を広げて対策してほしい。また、いじめと一口にくくらず、様々な視点から考えてほしい。

意見4：本校の目指す生活信条が教室によって様々な位置に掲示してあるが、時計の横に統一して常に見える位置に掲示することで、より意識できるようになるのではないか。

意見5：本校は再来年に学校設立130周年を迎える。実施を見据えて段取りを踏みたい。基金の継続性も含め、学校として同窓会に期待するところについて検討を始めてほしい。

意見6：周年記念行事を実施する意義を考えたい。主役は生徒だが、活かし育てるのは教員である。熱い教員がいる学校が伸びる。

意見7：ジェンダーについて、無意識にもっている偏見の解消をしてほしい。高校生は平等という意識をもっていると思うが、特に教員が無意識の偏見をもっていないか意識してほしい。男女の区別なく理数系をはじめ学ぶおもしろさを授業で伝えてもらいたい。

意見8：コロナ禍における生徒の安全を大切にしてほしい。制約はあるが行事や仲間との時間を大切にしてほしい。将来について考えることは家庭だけの時間では限界がある。社会人の講話など、実社会の体験に触れる機会を増やしてもらいたい。同窓会が昨年度制作した北高凶鑑は、生徒が将来を考える上でありがたい取組であった。

意見9：マスクを付け外す判断が生徒自身でできている。空き教室に私物が置いてある点が気になる。働き方改革の面も含めて、教室の掲示物などの環境がシンプルになった。

回答：学校も貴重品の扱いについて心配している。この3年間で、バドミントンラケット紛失案件が1件あった。これは別の生徒が勘違いで持ち帰ったというものだったが、幸運にも問題が起きていないだけかもしれない。

意見10：スマートフォンはネットリテラシーの面からも管理が必要である。トラブルが起きていないからよいということではない。国際交流については、必要であれば大学のシステムを使うことも可能である。アメリカの大学と交流ができる機材は準備されている。

意見11：全方位的に頑張るのではなく、本校の個性は何かを考える必要がある。ライバルとなる県内や愛知県内の高校と比べて、本校の強みは何なのか。例えば、本校にはSGHの流れから国際交流に関する積み上げがあるので、本校に入学すれば国際交流に取り組むチャンスがあることを強みとして伸長するなど、わかりやすく突き出たものがあるとよい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会において、令和4年度教育指導の重点および学校経営計画について、全委員より承認が得られた。

各委員から忌憚のない意見が得られた。一つ一つ解決していきながら、今回提案した学校経営計画を中心に生徒が自己実現を図るために取り組んでいく。